

中2国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 90.0%

ねらい：漢字の読み書きについての知識を問う。

分析と対策：漢字については、送り仮名や、その漢字を用いた熟語などについても確認するとよいでしょう。

2 助詞・助動詞 70.0%

ねらい：助動詞・助詞の知識を問う。

分析と対策：助詞・助動詞の中には、複数の意味を持つものがあります。文中での用法をよく確認して見分けましょう。また、助詞・助動詞は、それを含む文節が文中でどのようなはたらきをしているかを考えましょう。

3 文学的文章読解 78.6%

ねらい：話の展開や本文中の表現などをもとに、登場人物の様子や心情について読み取ることができるかを問う。

分析と対策：イベントの途中でリタイヤしそうになっている主人公が、再び気持ちを持ち直そうとしている場面です。(1)(2)は主人公が置かれている状況や、どうしようとしているところなのかを捉えます。(3)は状況や文脈をもとに、空欄に入ることばを考えます。(4)は対話相手に対する主人公の印象の変化をおさえます。(5)は話の流れをふまえて、主人公の様子をつかむ問いです。(6)では本文中で表現されている内容から、主人公の心情を理解したうえで、問われている内容について記述する力が問われています。

4 説明的文章読解 75.0%

ねらい：文章の展開をおさえ、本文中で述べられている内容と筆者の考えに対する理解を問う。

分析と対策：宮沢賢治の文学作品に出てくる生物について考察する筆者が、どのような方法で対象について調査したのかが書かれた文章です。調査の流れについて述べられている部分をおさえて読み進めましょう。(1)は成立しなかった仮説について、筆者の考察の過程を理解します。(2)は理由を表す表現を手掛かりにして、答えとなる部分を探しましょう。(3)は残された仮説を検証していった結果、判明した内容についての問いです。(4)は筆者にとっての、賢治の作品における「謎」の内容と、それを解決に導いた事実とをきちんと読み取りましょう。(5)は本文全体の内容理解の問題です。選択肢の内容を、本文の内容と細部まで照合して検討しましょう。(6)は本文全体の構成の特徴をつかむ問いです。

5 古文読解 53.8%

ねらい：古文の基本的な知識や、基本的な読解力について問う。

分析と対策：伊勢大輔の歌人としての力量を示す逸話が書かれている文章です。(1)は現代語訳の問いです。文脈から考えましょう。(2)の仮名遣いや、(3)の動作主の問題は、古文でよく問われるので、きちんとおさえておきましょう。(4)は古文全体の内容理解の問いです。

全体の平均点は74.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。